

2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔SFRS（I）及びIFRS〕（連結）

2024年8月14日

上場会社名 YCPホールディングス（グローバル）リミテッド 上場取引所 東
コード番号 9257 URL https://www.ycp.com
代表者 (役職名)取締役兼グループCEO (氏名)石田 裕樹
問合せ先責任者 (役職名)IRグループ (氏名)中村 哲朗 (TEL) 03-6804-3225
半期報告書提出予定日 2024年8月14日 配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・メディア関係者、個人投資家向け）

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

(注) 当社の連結財務書類は米ドルで表示されています。本書において円で表示している金額は、便宜上、2024年6月28日現在の株式会社みずほ銀行の対顧客電信直物売相場場の仲値に基づき1米ドル=161.14円で換算された金額であります。

(1) 連結経営成績（累計） (単位：千米ドル（百万円）、%表示は対前年中間期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前 中間利益		中間利益		親会社の所有者 に帰属する 中間利益		中間包括利益 合計額	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
2024年12月期 中間期	61,420 (9,897)	3.7%	3,937 (634)	△20.8%	3,784 (610)	△23.5%	2,312 (373)	△29.7%	2,138 (345)	△32.4%	△1,022 (△165)	-
2023年12月期 中間期	59,212 (9,541)	49.1%	4,968 (801)	18.1%	4,945 (797)	22.2%	3,290 (530)	26.8%	3,165 (510)	22.1%	△883 (△142)	△77.9%

(単位：米ドル（円）)

	基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
2024年12月期 中間期	0.10 (15.59)	0.10 (15.54)
2023年12月期 中間期	0.15 (23.92)	0.15 (23.92)

(2) 連結財政状態

(単位：千米ドル（百万円）)

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者帰属 持分比率
2024年12月期 中間期	125,092 (20,157)	72,798 (11,731)	71,564 (11,532)	57.2%
2023年12月期	131,868 (21,249)	72,119 (11,621)	70,904 (11,425)	53.8%

2. 配当の状況

(単位：米ドル（円）)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年12月期	-	0.00 (0.00)	-	0.00 (0.00)	0.00 (0.00)
2024年12月期	-	0.00 (0.00)			
2024年12月期(予想)		0.00 (0.00)	-	0.00 (0.00)	0.00 (0.00)

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(単位：千米ドル（百万円）、%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰 属する当期利益		基本的1株当たり当期 利益（米ドル、円）	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
通期	131,409 (21,175)	7.7%	10,712 (1,726)	17.8%	10,329 (1,664)	16.0%	6,744 (1,087)	19.2%	0.30 (48.79)	15.3%

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ①SFRS (I) 及びIFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ②①以外の会計方針の変更 : 無
- ③会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

①期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期中間期	22,271,292 株	2023年12月期	21,938,276 株
②期末自己株式数	2024年12月期中間期	- 株	2023年12月期	- 株
③期中平均株式数 (中間期)	2024年12月期中間期	22,104,784 株	2023年12月期中間期	21,321,976 株

※第2四半期 (中間期) 決算短信は、日本の金融商品取引法に基づく独立監査人による監査手続の対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「1. 当中間決算に関する定性的情報 (4) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) キャッシュ・フローの状況	4
(4) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約中間連結損益及び包括利益計算書	6
(2) 要約中間連結財政状態計算書	8
(3) 要約中間連結持分変動計算書	9
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当社グループの当中間連結会計期間における経営成績は、売上収益は61,420千米ドル（9,897百万円）と前年同期に比べ2,208千米ドル（356百万円、3.7%）の増収となりました。営業利益は3,937千米ドル（634百万円）と前年同期比と比べ1,031千米ドル（166百万円、20.8%）の減益、親会社の所有者に帰属する中間利益は2,138千米ドル（345百万円）と前年同期と比べ1,027千米ドル（165百万円、32.4%）の減益となりました。中間包括利益については、税引後その他の中間包括利益で3,334千米ドル（537百万円）の損失を計上し、1,022千米ドル（165百万円）の損失となりました。

当中間連結会計期間における報告セグメントごとの業績は、以下の通りです。

(マネジメントサービス事業)

マネジメントサービス事業は、当社グループの中核事業であり、2024年6月30日現在でアジアを中心とする世界22拠点にて約470名のプロフェッショナルが、M&AやDX導入などの企業変革実現に向けた現場常駐型(PM0型)での経営支援サービスを国内外で展開しております。

当事業においては、主要な地域の中で、経済成長が続くインド地域で552千米ドル（89百万円、9.4%）の増収となったものの、更なる円安に加え、デジタルトランスフォーメーション領域及びインタラクティブソリューション領域を新たな報告セグメントであるプロフェッショナルソリューション事業に移管したことで日本地域における売上収益が4,085千米ドル（658百万円、44.3%）の減収、不動産市況の悪化に端を発する景気減速の影響を受けたグレーターチャイナ地域で472千米ドル（76百万円、18.1%）の減収になりました。その結果、当中間連結会計期間のセグメント売上収益は18,281千米ドル（2,946百万円、前年同期はプロフェッショナルソリューション事業を含み22,669千米ドル（3,653百万円））（セグメント間収益含む）で減収、セグメント利益は2,870千米ドル（462百万円、前年同期はプロフェッショナルソリューション事業を含み4,264千米ドル（687百万円））で減益になりました。

マネジメントサービス事業における、当中間連結会計期間及び前年同期の地域別売上収益の内訳は以下の通りです。

(地域別売上収益の内訳)	当中間連結会計期間 (2024年1月1日～2024年6月30日)		前中間連結会計期間 (2023年1月1日～2023年6月30日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
	日本	5,131	827	9,216
東南アジア	3,856	621	4,679	754
グレーターチャイナ	2,129	343	2,601	419
インド	6,426	1,035	5,874	947
中東	-	-	78	13
欧州	816	131	548	88
北米	645	104	377	61
グループ間取引消去	△1,285	△207	△1,392	△224
合計	17,718	2,855	21,981	3,542

(参考：現地通貨の売上推移)	当中間連結会計期間 (2024年1月1日～2024年6月30日)		前中間連結会計期間 (2023年1月1日～2023年6月30日)	
日本（百万円）		1,113		1,309
グレーターチャイナ（千人民元）		17,880		22,610
インド（百万インドルピー）		533		483

(注) その他の地域については、原則として米ドルで計上しているが、少額のため割愛しております。

(プロフェッショナルソリューション事業)

プロフェッショナルソリューション事業は、マネジメントサービス事業を通じて集積した知見やネットワークを活用し、特定の領域に特化した専門的なサービスを提供しております。現在は、デジタルトランスフォーメーション(DX)、インタ

ラクティブソリューション、サプライチェーンソリューションの3領域でサービスを展開しております。

前中間連結会計期間においては、各領域ともマネジメントサービスと連携して事業の立ち上げを進めていたことから、3領域ともマネジメントサービス事業に含めて報告を行ってまいりました。

その後、サプライチェーンソリューション領域で、2023年8月にインドなど世界7拠点でサプライチェーン構築や調達・購買に関するコンサルティングサービスを提供しているConsus Global Pvt. Ltd. 及びSB Invest Pte. Ltd.（以下、「コンサス」といいます。）の完全子会社化を実施したこと、また、デジタルトランスフォーメーション領域及びインタラクティブソリューション領域で、事業立ち上げが順調に進捗し、一定の収益が見込まれるようになったことから、これら3領域をソリューション事業として当中間連結会計期間より報告を開始しております。

当事業においては、各領域の立ち上げが順調に進捗し、デジタルトランスフォーメーション領域で1,671千米ドル（269百万円）、インタラクティブソリューション領域で941千米ドル（152百万円）、サプライチェーンソリューション領域で3,524千米ドル（568百万円）の売上収益となりました。その結果、当中間連結会計期間のセグメント売上収益は6,136千米ドル（989百万円）、セグメント利益は507千米ドル（82百万円）となりました。

(プロフェッショナルソリューション 事業における領域別売上収益の内訳)	当中間連結会計期間 (2024年1月1日～2024年6月30日)		前中間連結会計期間 (2023年1月1日～2023年6月30日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
デジタルトランスフォーメーション	1,671	269	-	-
インタラクティブソリューション	941	152	-	-
サプライチェーンソリューション	3,524	568	-	-
グループ間取引消去	-	-	-	-
合計	6,136	989	-	-

(プリンシパル投資事業)

プリンシパル投資事業は、マネジメントサービス事業を通じて培った経営人材のプラットフォームを活用し、中小/新興企業に対して当社グループ自らの資金を投下する他、ゼロから事業立ち上げを伴うインキュベーションにも積極的に取り組んでおります。これまでの投資活動の結果、現在では、パーソナルケア領域及びペットケア領域を重点領域と定め長期的な投資を継続しております。また、将来の重点領域となるべきビジネスシーズに対する投資も、戦略投資領域として積極的に投資を行っております。

パーソナルケア領域は、主要な連結子会社である株式会社SOLIAを通じて、「ALOBABY（アロベビー）」、「HALENA（ハレナ）」、「AMBIQUE（アンビーク）」及び「MELCE（メルス）」などのパーソナルケア商材をアジア全域に展開しております。当領域においては、主力ブランドである「ALOBABY（アロベビー）」及び「AMBIQUE（アンビーク）」の販売が堅調に推移し、円建て決算ベースの売上収益は前年同期比で596百万円の増収となりました。一方で、更なる円安の影響もあり、米ドル建て決算ベースの売上収益は前年同期比で1,884千米ドル（304百万円）の増収にとどまっております。その結果、当中間連結会計期間のセグメント売上収益は19,521千米ドル（3,146百万円、前年同期は17,637千米ドル（2,842百万円））、セグメント利益は2,237千米ドル（360百万円、前年同期は1,877千米ドル（302百万円））となりました。

ペットケア領域は、主要な連結子会社である株式会社LVGを通じて、動物病院運営を中心に事業を展開しています。

当領域においては、2023年1月に北海道江別市で、2023年4月に茨城県つくば市でそれぞれ新たに動物病院事業を運営する会社を取得したことにより、円建て決算ベースの売上収益は前年同期比で179百万円の増収となりました。一方で、更なる円安の影響により、米ドル建て決算ベースの売上収益は前年同期比で88千米ドル（14百万円）の増収にとどまっております。また、東京都練馬区において運営する動物病院の移転に係る一時的な費用を計上しております。その結果、当中間連結会計期間のセグメント売上収益は9,621千米ドル（1,550百万円、前年同期は9,533千米ドル（1,536百万円））、セグメント利益は534千米ドル（86百万円、前年同期は624千米ドル（101百万円））となりました。

戦略投資領域は、将来の重点領域となるべきビジネスシーズに対する投資として、主にアジア各国における飲食事業やシニア向けサービスといった事業に投資を行っております。

当領域においては、中国の景気減速の影響により中国及びシンガポールでの飲食事業が軟調に推移したことから、売上収益は前年同期比で1,689千米ドル（272百万円）の減収となりました。その結果、当中間連結会計期間のセグメント売上収益は8,620千米ドル（1,389百万円、前年同期は10,309千米ドル（1,661百万円））、セグメント利益は175千米ドル（28百万円、前年同期は667千米ドル（107百万円）の損失）となりました。

以上の当社グループの売上収益をまとめると以下の通りです。

(グループの売上収益の内訳)	当中間連結会計期間 (2024年1月1日～2024年6月30日)		前中間連結会計期間 (2023年1月1日～2023年6月30日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
	マネジメントサービス事業	18,281	2,946	22,669
プロフェッショナル ソリューション事業	6,274	1,011	-	-
プリンシパル投資事業 (内訳)	37,762	6,085	37,479	6,039
パーソナルケア領域	19,521	3,146	17,637	2,842
ペットケア領域	9,621	1,550	9,533	1,536
戦略投資領域	8,620	1,389	10,309	1,661
グループ間取引消去	△897	△145	△936	△151
合計	61,420	9,897	59,212	9,541

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当中間連結会計期間末の資産合計は125,092千米ドル（20,157百万円、前連結会計年度末は131,868千米ドル（21,249百万円））となり、前連結会計年度比6,776千米ドル（1,092百万円）減少となりました。これは主に、2024年4月1日に実施したShenkuo Business Partners Limited（以下、「シェンクオ」といいます。）の株式取得の影響により、現金及び預金が5,626千米ドル（907百万円）減少したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債合計は52,294千米ドル（8,427百万円、前連結会計年度末は59,749千米ドル（9,628百万円））となり、前連結会計年度比7,455千米ドル（1,201百万円）減少となりました。これは主に、営業債務以外の短期債務が3,568千米ドル（575百万円）減少したことによるものであります。

(資本)

当中間連結会計期間末の純資産合計は72,798千米ドル（11,731百万円、前連結会計年度末は72,119千米ドル（11,621百万円））となり、前連結会計年度末比679千米ドル（109百万円）増加となりました。これは主に、シェンクオの株式取得に伴って、1,454千米ドル（234百万円）の新株発行を行ったことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より5,626千米ドル（907百万円）減少し、20,567千米ドル（3,314百万円）となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動による資金の増加は、3,786千米ドル（610百万円、前中間連結会計期間は744千米ドル（120百万円）の増加）となりました。これは主に、プロフェッショナルソリューション事業及びプリンシパル投資事業の業績が堅調に推移したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動による資金の減少は、4,303千米ドル（693百万円、前中間連結会計期間は4,595千米ドル（740百万円）の増加）となりました。これは主に、子会社の取得による支出1,540千米ドル（248百万円）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における財務活動による資金の減少は、2,924千ドル（471百万円、前中間連結会計期間は5,694千ドル（918百万円）の増加）となりました。これは主に、借入金の返済による支出3,009千ドル（485百万円）によるものであります。

（4）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの売上計画はセグメント別（マネジメントサービス事業においては各地域別）に作成した売上収益を合算して算出しております。各セグメントの売上収益は、過年度の実績や当該セグメントの特性及び個別事情等を考慮して、個別に積上げ、計画に反映しております。

マネジメントサービス事業及びプロフェッショナルソリューション事業は、引き続き為替変動等の主要なリスクを注視しつつも、Auctus Advisors Private Limited（以下、「オークタス」といいます。） 、コンサス及びシエンクオとのM&Aを通じた大幅な業容拡大を実現していること、さらに、これらに続く新たなM&Aも積極的に検討していることから、着実な売上拡大を見込んでおります。また、プリンシパル投資事業においては、重点領域であるパーソナルケア領域及びペットケア領域が位置するマーケットは、為替変動の影響下でも堅実な需要が見込まれることから、今後もマーケティング施策の拡大や動物病院のM&Aを通じて着実に売上拡大を図ってまいります。戦略投資領域については、新型コロナウイルス感染症の影響縮小を受けて世界的に旅行需要の回復が続いていることもあり、日本及びアジア各国での着実な売上拡大を見込んでおります。

なお、当社グループの事業内容に関して、ロシア・ウクライナ情勢による直接的な影響はグループ全体で軽微であるものの、情勢の変化によって生じうる急激な為替変動リスクについては、引き続き注視してまいります。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結損益及び包括利益計算書

	当中間連結会計期間 (2024年1月1日～ 2024年6月30日)		前中間連結会計期間 (2023年1月1日～ 2023年6月30日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
売上収益	61,420	9,897	59,212	9,541
売上原価	△20,855	△3,361	△18,341	△2,955
売上総利益	40,565	6,537	40,871	6,586
その他の収益または費用（△は費用）	54	9	71	11
販売費	△9,560	△1,540	△9,176	△1,479
一般管理費	△27,078	△4,363	△26,728	△4,307
その他の営業費用	△44	△7	△70	△11
営業利益	3,937	634	4,968	801
金融収益	18	3	185	30
金融費用	△171	△28	△194	△31
持分法による投資損益（△は損失）	-	-	△14	△2
税引前中間利益	3,784	610	4,945	797
法人所得税費用	△1,472	△237	△1,655	△267
中間利益	2,312	373	3,290	530
中間利益の帰属:				
親会社の所有者	2,138	345	3,165	510
非支配持分	174	28	125	20
親会社の所有者に帰属する1株当たり利益:				
基本（米セント/円）	9.67	15.59	14.84	23.92
希薄化後（米セント/円）	9.64	15.54	14.84	23.92
その他の包括利益（△は損失）				
純損益に振り替えられる可能性のある その他の包括利益（△は損失）:				
在外営業活動体の換算差額	△3,335	△537	△4,173	△672
純損益に振り替えられる可能性のない その他の包括利益（△は損失）:				
在外営業活動体の換算差額	1	0	0	0
税引後その他の包括利益（△は損失）	△3,334	△537	△4,173	△672
中間包括利益（△は損失）合計	△1,022	△165	△883	△142
中間包括利益（△は損失）の帰属:				
親会社の所有者	△1,041	△168	△891	△144
非支配持分	19	3	8	1

	当第2四半期連結会計期間 (2024年4月1日～ 2024年6月30日)		前第2四半期連結会計期間 (2023年4月1日～ 2023年6月30日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
売上収益	31,527	5,080	31,351	5,052
売上原価	△10,675	△1,720	△9,640	△1,553
売上総利益	20,852	3,360	21,711	3,499
その他の収益または費用（△は費用）	14	2	6	1
販売費	△4,954	△798	△5,317	△857
一般管理費	△13,806	△2,225	△13,205	△2,128
その他の営業費用	△31	△5	△81	△13
営業利益	2,075	334	3,114	502
金融収益	13	2	182	29
金融費用	△80	△13	△109	△18
持分法による投資損益（△は損失）	-	-	△6	△1
税引前四半期利益	2,008	324	3,181	513
法人所得税費用	△872	△141	△937	△151
四半期利益	1,136	183	2,244	362
四半期利益の帰属:				
親会社の所有者	1,027	165	2,109	340
非支配持分	109	18	135	22
親会社の所有者に帰属する1株当たり利益:				
基本（米セント/円）	4.61	7.43	9.89	15.94
希薄化後（米セント/円）	4.60	7.42	9.89	15.94
その他の包括利益（△は損失）				
純損益に振り替えられる可能性のある その他の包括利益（△は損失）:				
在外営業活動体の換算差額	△1,694	△273	△3,244	△523
純損益に振り替えられる可能性のある その他の包括利益（△は損失）:				
在外営業活動体の換算差額	1	0	0	0
税引後その他の包括利益（△は損失）	△1,693	△273	△3,244	△523
四半期包括利益（△は損失）合計	△557	△90	△1,000	△161
四半期包括利益（△は損失）の帰属:				
親会社の所有者	△522	△84	△1,047	△169
非支配持分	△35	△6	47	8

（2）要約中間連結財政状態計算書

	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)		前連結会計年度 (2023年12月31日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
非流動資産				
有形固定資産	8,225	1,325	7,920	1,276
使用権資産	5,708	920	6,646	1,071
のれん	54,834	8,836	53,126	8,561
無形資産	5,324	858	5,906	952
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産	1,649	266	1,010	163
前払金、敷金及び保証金並びにその他の債権	2,201	355	1,039	167
繰延税金資産	1,469	237	1,906	307
非流動資産合計	79,410	12,797	77,553	12,497
流動資産				
棚卸資産	6,248	1,007	8,002	1,289
営業債権	12,805	2,063	11,825	1,905
契約資産	2,610	421	2,616	422
前払金、敷金及び保証金並びにその他の債権	3,452	556	5,679	915
現金及び預金	20,567	3,314	26,193	4,221
流動資産合計	45,682	7,361	54,315	8,752
流動負債				
営業債務	5,246	845	4,982	803
営業債務以外の短期債務	16,751	2,699	20,319	3,274
有利子負債	4,739	764	6,607	1,065
リース負債	2,936	473	3,330	537
未払法人所得税	1,602	258	2,272	366
流動負債合計	31,274	5,039	37,510	6,045
正味流動資産	14,408	2,322	16,805	2,708
正味流動資産及び非流動資産合計	93,818	15,118	94,358	15,205
非流動負債				
営業債務以外の長期債務	2,472	398	1,623	261
有利子負債	14,441	2,327	15,688	2,528
リース負債	2,817	454	3,469	559
繰延税金負債	1,220	197	1,393	224
退職給付に係る負債	70	11	66	11
非流動負債合計	21,020	3,387	22,239	3,583
純資産	72,798	11,731	72,119	11,621
資本				
親会社の所有者に帰属する持分				
資本金	46,381	7,474	44,927	7,240
剰余金	25,183	4,058	25,977	4,186
	71,564	11,532	70,904	11,425
非支配持分	1,234	199	1,215	196
資本合計	72,798	11,731	72,119	11,621

(3) 要約中間連結財政状態計算書

当中間連結会計期間(2024年1月1日～2024年6月30日)

単位：千円ドル（百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分							非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	在外営業 活動体の 換算差額	利益 剰余金	新株 予約権	退職給付 制度	合計		
2024年1月1日残高	44,927 (7,240)	△1,453 (△234)	△9,541 (△1,537)	36,396 (5,865)	589 (95)	△14 (△2)	70,904 (11,425)	1,215 (196)	72,119 (11,621)
中間利益	-	-	-	2,138 (345)	-	-	2,138 (345)	174 (28)	2,312 (373)
その他の包括利益 (△は損失)									
在外営業活動体の 換算差額	-	-	△3,180 (△512)	-	-	1 (0)	△3,179 (△512)	△155 (△25)	△3,334 (△537)
中間包括利益（△は損失）合 計	-	-	△3,180 (△512)	2,138 (345)	-	1 (0)	△1,041 (△168)	19 (3)	△1,022 (△165)
子会社の取得に伴う新株の発 行	1,454 (234)	-	-	-	-	-	1,454 (234)	-	1,454 (234)
株式報酬費用	-	-	-	-	247 (40)	-	247 (40)	-	247 (40)
2024年6月30日残高	46,381 (7,474)	△1,453 (△234)	△12,721 (△2,049)	38,534 (6,209)	836 (135)	△13 (△2)	71,564 (11,532)	1,234 (199)	72,798 (11,731)

前中間連結会計期間(2023年1月1日～2023年6月30日)

単位：千円ドル（百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分							非支 配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	在外営業 活動体の 換算差額	利益 剰余金	新株 予約権	退職給付 制度	合計		
2023年1月1日残高	41,182 (6,636)	△1,972 (△318)	△6,639 (△1,070)	30,918 (4,982)	321 (52)	△7 (△1)	63,803 (10,281)	114 (18)	63,917 (10,300)
中間利益	-	-	-	3,165 (510)	-	-	3,165 (510)	125 (20)	3,290 (530)
その他の包括利益 (△は損失)									
在外営業活動体の 換算差額	-	-	△4,056 (△654)	-	-	0 (0)	△4,056 (△654)	△117 (△19)	△4,173 (△672)
中間包括利益（△は損失）合 計	-	-	△4,056 (△654)	3,165 (510)	-	0 (0)	△891 (△144)	8 (△1)	△883 (△142)
子会社の売却	-	-	-	-	-	-	-	△106 (△15)	△106 (△15)
非支配株主からの出資	-	519 (84)	-	-	-	-	519 (84)	1,057 (170)	1,576 (254)
株式報酬費用	-	-	-	-	147 (24)	-	147 (24)	-	147 (24)
2023年6月30日残高	41,182 (6,636)	△1,453 (△234)	△10,695 (△1,723)	34,083 (5,492)	468 (75)	△7 (△1)	63,578 (10,245)	1,073 (173)	64,651 (10,418)

（4）要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

	当中間連結会計期間 (2024年1月1日～ 2024年6月30日)		前中間連結会計期間 (2023年1月1日～ 2023年6月30日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税引前中間利益	3,784	610	4,945	797
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整:				
金融収益	△18	△3	△185	△30
純損益を通じて公正価値で測定する 金融資産の売却による利得	-	-	△18	△3
子会社の売却益	-	-	△4	△1
減価償却費（有形固定資産）	900	145	802	129
減価償却費（使用権資産）	1,826	294	2,067	333
その他の償却費（無形資産）	429	69	445	72
棚卸資産廃棄損	47	8	32	5
有形固定資産除却損	-	-	24	4
有形固定資産売却益	△5	△1	-	-
リース解約益	△20	△3	△5	△1
貸倒引当金の増加額	13	2	20	3
金融費用	171	28	194	31
持分法による投資損失	-	-	14	2
株式報酬費用	247	40	147	24
運転資本の変動前の営業キャッシュ・インフロー	7,374	1,188	8,478	1,366
運転資本の変動:				
前払金、敷金及び保証金並びに その他の債権の減少額	947	153	362	58
契約資産の増加額	△91	△15	△1,379	△222
棚卸資産の増減額（△は増加）	931	150	△953	△154
営業債権の増減額（△は増加）	△1,404	△226	820	132
営業債務の増減額（△は減少）	632	102	△1,027	△165
営業債務以外の債務の減少額	△2,759	△445	△3,935	△634
小計	5,630	907	2,366	381
法人所得税の支払額	△1,844	△297	△1,622	△261
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,786	610	744	120
投資活動によるキャッシュ・フロー				
利息の受取額	18	3	185	30
有形固定資産の取得による支出	△2,068	△333	△3,351	△540
有形固定資産の売却による収入	5	1	-	-
子会社の取得による支出	△1,540	△248	△4,587	△739
純損益を通じて公正価値で測定する 金融資産の売却による収入	-	-	12,599	2,030
純損益を通じて公正価値で測定する 金融資産の取得による支出	△718	△116	△345	△56
子会社の売却による収入	-	-	94	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,303	△693	4,595	740
財務活動によるキャッシュ・フロー				
借入による収入	2,110	340	8,414	1,356
借入金の返済による支出	△3,009	△485	△2,146	△346
リース負債の返済による支出	△1,854	△299	△1,956	△315
利息の支払額（リース負債）	△53	△9	△90	△15
利息の支払額	△118	△19	△104	△17
非支配株主による出資	-	-	1,576	254
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,924	△471	5,694	917
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,441	△554	11,033	1,778
現金及び現金同等物の期首残高	26,193	4,221	23,473	3,782
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△2,185	△352	△2,380	△384
現金及び現金同等物の中間期末残高	20,567	3,314	32,126	5,177
現金及び現金同等物の内訳:				
現金及び預金	20,567	3,314	32,126	5,177

(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営意思決定機関であるグループ取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、クライアント企業に対してM&A等に関する現場常駐型（PMO型）の各種経営支援等を提供する「マネジメントサービス」、サプライチェーンやデジタルトランスフォーメーションなど専門的な知見が求められる特定の領域に特化したソリューションを提供する「プロフェッショナルソリューション事業」及び中小・振興企業に対するリスクマネーの提供やゼロベースから事業をインキュベーションする「プリンシパル投資」の3事業を展開しております。さらに「プリンシパル投資」においては、「パーソナルケア領域」及び「ペットケア領域」を重点領域と定め長期的な投資を継続している他、将来の重点領域となるべきビジネスシーズに対する投資も「戦略投資領域」として積極的に投資を行っております。

従って、当社グループは、「マネジメントサービス事業」「プロフェッショナルソリューション事業」「パーソナルケア領域」「ペットケア領域」「戦略投資領域」の5つの事業もしくは領域を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報

当中間連結会計期間（2024年1月1日～2024年6月30日）

（単位：千米ドル（百万円））

	報告セグメント					合計
	マネジメント サービス	プロフェッシ ョナルソリュ ーション	パーソナル ケア	ペットケア	戦略投資	
外部収益	17,718 (2,855)	6,136 (989)	19,509 (3,144)	9,621 (1,550)	8,436 (1,359)	61,420 (9,897)
セグメント間収益	563 (91)	138 (22)	12 (2)	- -	184 (30)	897 (145)
計	18,281 (2,946)	6,274 (1,011)	19,521 (3,146)	9,621 (1,550)	8,620 (1,389)	62,317 (10,042)
セグメント間収益 の相殺						△897 (△145)
収益合計						61,420 (9,897)
非資金取引前セグ メント損益	3,837 (618)	636 (102)	2,474 (399)	1,455 (234)	1,358 (219)	9,760 (1,573)
非資金取引	-	-	-	△4	△9	△13
貸倒引当金繰入額	-	-	-	(△1)	(△1)	(△2)
棚卸資産廃棄損	-	-	△42	-	△5	△47
有形固定資産売却 益	5 (1)	- -	- -	- -	- -	5 (1)
減価償却費	△484 (△78)	△106 (△17)	△189 (△30)	△808 (△130)	△1,139 (△184)	△2,726 (△439)
その他の償却費	△241 (△39)	△23 (△4)	△6 (△1)	△109 (△18)	△50 (△8)	△429 (△69)
リース解約益	-	-	-	-	20	20
株式報酬費用	-	-	-	-	(3)	(3)
株式報酬費用	△247 (△40)	- -	- -	- -	- -	△247 (△40)
セグメント損益	2,870 (462)	507 (82)	2,237 (360)	534 (86)	175 (28)	6,323 (1,019)
配賦不能本社費						△2,386 (△384)
営業利益						3,937 (634)
金融収益						18 (3)
金融費用						△171 (△28)
税引前中間利益						3,784 (610)

前中間連結会計期間（2023年1月1日～2023年6月30日）

（単位：千米ドル（百万円））

	報告セグメント				合計
	マネジメント サービス	パーソナル ケア	ペットケア	戦略投資	
外部収益	21,981 (3,542)	17,617 (2,839)	9,525 (1,535)	10,089 (1,626)	59,212 (9,541)
セグメント間収益	688 (111)	20 (3)	8 (1)	220 (35)	936 (151)
計	22,669 (3,653)	17,637 (2,842)	9,533 (1,536)	10,309 (1,661)	60,148 (9,692)
セグメント間収益の相殺					△936 (△151)
収益合計					59,212 (9,541)
非資金取引前セグメント損益	5,353 (863)	1,999 (322)	1,571 (253)	2,019 (325)	10,942 (1,763)
非資金取引					
貸倒引当金繰入額	△18 (△3)	- -	△2 (△0)	- -	△20 (△3)
棚卸資産廃棄損	- -	△32 (△5)	- -	- -	△32 (△5)
有形固定資産除却損	- -	- -	- -	△24 (△4)	△24 (△4)
減価償却費	△686 (△111)	△82 (△13)	△808 (△130)	△1,293 (△208)	△2,869 (△462)
その他の償却費	△243 (△39)	△8 (△1)	△137 (△22)	△57 (△9)	△445 (△72)
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の売却による利得	- -	- -	- -	18 (3)	18 (3)
リース解約益	5 (1)	- -	- -	- -	5 (1)
子会社の売却益	- -	- -	- -	4 (1)	4 (1)
株式報酬費用	△147 (△24)	- -	- -	- -	△147 (△24)
セグメント損益	4,264 (687)	1,877 (302)	624 (101)	667 (107)	7,432 (1,198)
配賦不能本社費					△2,464 (△397)
営業利益					4,968 (801)
金融収益					185 (30)
金融費用					△194 (△31)
持分法による投資損失					△14 (△2)
税引前中間利益					4,945 (797)